

(ID 64095)

報道機関各位

青森県健康福祉部保健衛生課長

### 結核予防週間について

下記のとおり結核予防週間が始まりますので、結核の早期発見及び予防について、県民への周知をよろしくお願いします。

### 記

#### 1 結核予防週間とは

毎年9月24日から9月30日までは「結核予防週間」です。

県や各保健所ではポスターの掲示やリーフレットの配布等を通じて、結核予防に関する知識の普及啓発活動を実施しています。

#### **※結核は過去の病気ではありません。**

かつて、「国民病」と恐れられていた結核は、今でもすべての世代において患者が発生しており、昨年は、全国で年間15,590人の患者が発生しています。青森県でも昨年は127人の患者が発生し、22人（平成30年人口動態統計による）が死亡しています。また、結核患者の約7割が70歳以上の高齢者となっています。

#### 2 結核による感染を防ぐために

##### (1) せきやたんが2週間以上続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

なお、高齢者の方はせきやたんの症状が見られないことも多いので、倦怠感や体重の急減といった身体の変化にも注意してください。

##### 【結核の主な症状】

- ・長引くせき・たん・微熱
- ・全身倦怠感（だるさ）
- ・体重減少

##### (2) 職場や市町村で実施している定期健康診断（結核検診）を受け、年に1回は胸部X線検査を受けましょう。

##### (3) 抵抗力の弱い赤ちゃんには、BCGワクチンの予防接種が有効です。市町村の案内に従って、生後1歳に至るまでに接種しましょう。

【参考】

(1) 結核の罹患率（人口10万人あたりの新登録患者数）

	平成30年 罹患率	全国順位 (罹患率の低い順)	平成29年 罹患率
青森県	10.1	19位	12.0
岩手県	8.5	5位	8.8
宮城県	7.2	2位	7.2
秋田県	7.5	3位	8.0
山形県	6.0	1位	7.4
福島県	9.8	14位	7.3
全国	12.3	—	13.3

※罹患率が最も高い都道府県 大阪府 20.5

本県の結核患者は年々減少傾向にあり、罹患率は全国を下回っているが、東北地方の中では、一番高い状況にある。

(2) 新登録患者の年齢構成割合（平成30年、％）

年齢(歳)	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
青森県	0.8	0.8	3.1	3.1	5.5	15.0	22.1	49.6
全国	1.3	8.2	5.7	6.6	7.4	10.9	19.2	40.7

新登録患者の約7割が70歳以上の高齢者である。

(3) 詳細については、青森県庁ホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/tuberculosis\\_week.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/tuberculosis_week.html)  
(県庁HP—保健・医療・福祉—保健衛生—青森県感染症情報ネット—結核)

※結核予防週間中、「注目情報」にも掲載しています。

報道機関用提供資料	
担当課・担当者	保健衛生課 感染症対策グループ 担当者 佐藤総括主幹
電話番号	内線 6279 直通 017-734-9284
報道監	健康福祉部 奈須下次長 (内線 6202)